

第5回北区まちづくり懇話会資料

平成30年8月10日(金)開催



「ず〜っと住みたい“わがまち北区”」を目指して①



第4回まちづくり懇話会で考えた必要な取組(方針1)

方針1 『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

【必要な取組】

- ・地域がつながる「サロン」の運営
- ・日常的な地域のつながり
- ・企業見学などを通じた地域と地域にある企業のつながり
- ・SNSなどを活用した若者と高齢者の交流
- ・顔の見える安全安心なまちづくり

キーワード
つながり



「ず〜っと住みたい“わがまち北区”」を目指して②



第4回まちづくり懇話会で考えた必要な取組(方針2)

方針2 『健康の大切さを知り、お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

【必要な取組】

- ・地域で何回も会い、会話を増やし、地域参加する
- ・地域に人を引き入れるおせっかいな人・力を創出する
- ・世代や状況にあった情報発信・共有を口コミ・SNS・回覧板等で行う
- ・多世代交流で地域活動に参加する
- ・運動のイベントの参加者、運動をしやすい環境を増やす
- ・皆で食事を作り、一緒に食事を摂ることで、食事の大切さを知る



前回の振り返りとさらに必要な取組について



前回の話し合いの内容について振り返ってみましょう！



必要な取組について、他に意見はないでしょうか？
前回参加できなかった人・今回初めて参加する人の意見を聞いてみましょう！



必要な取組を実現するなら・・・



これまで出た必要な取組について、
ぜひ取り組みたい！ 取り組んで欲しい！と考える

2～3つの取組について

「タイトル」
を考えてみましょう！

子どもからお年寄りまで
みんながわかりやすい
タイトルがいいかな？

みんなが
参加したくなる
取組の名前は・・・？

堅苦しくない、
面白いタイトル
にしたいな・・・。

必要な取組をどう実現するか



タイトルをつけた取組について、
3つの視点からどのように**実現するか**を話し合ってみましょう！

1 どういった場所で？

2 誰が関わって？

3 どんな状況・効果を目指して？



必要な取組をどう実現するか の「例」



例： 多世代交流サロンの運営

1

どういった場所で？

⇒ 区役所やまちづくりセンターの場所を活用して

2

誰が関わって？

⇒ 参加者は子どもからお年寄りまで。

⇒ 運営や呼びかけは地域の人も行政も一緒になって。

3

どんな状況・効果を目指して？

⇒ 災害のときなどに、気兼ねなく声を掛け合えるようになる。

⇒ 若い人も地域活動に興味を持つ、参加するようになる。

今回のワークショップについて①



本日の懇話会の流れ

時間	内容	進行
14:30～ (20分間)	会長挨拶 これまでの懇話会の流れについて	全体
14:50～ (20分間)	自己紹介(名前・住まい・夏の楽しみ) 前回の振り返りとさらに必要な取組について	グループ
15:10～ (15分間)	必要な取組のタイトルを考えよう!	グループ
15:25～ (20分間)	必要な取組をどう実現するか	グループ
15:45～ (10分間)	休憩	
15:55～ (10分間)	意見のまとめ(発表の準備)	グループ
16:05～	発表	全体



今回のワークショップについて②



ワークショップでのルール

- ・話し合いに積極的に参加しよう！
- ・前向きな考えで発言しよう！
- ・他の人の意見にしっかり耳を傾けよう！
- ・個人の立場で、率直に意見を述べよう！

